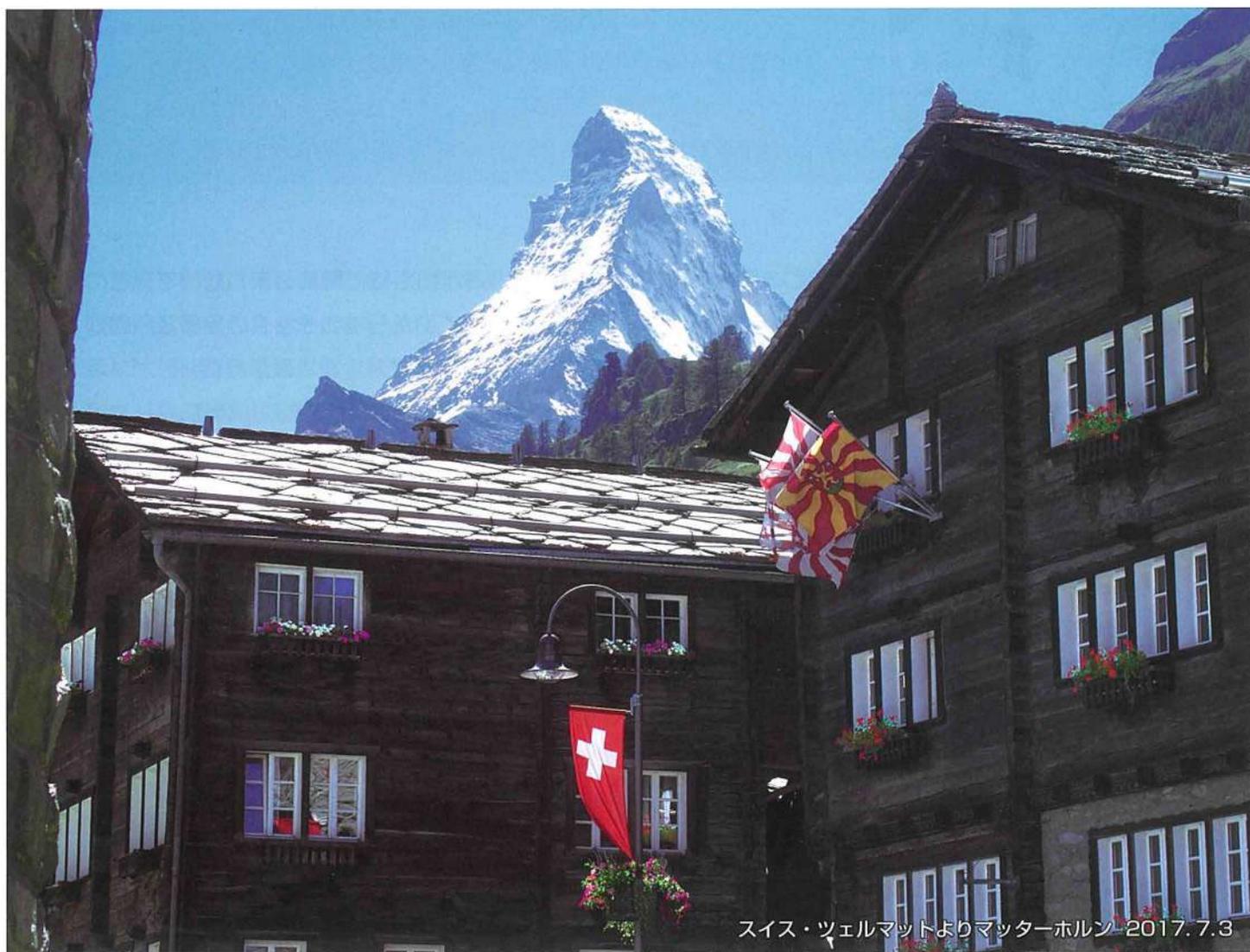


セント・ルカ産婦人科

LUKE MAGAZINE WINTER

ルカ新聞

No.32
2017.12.

スイス・ツェルマットよりマッターホルン 2017. 7.3

柘榴ざくろ

神の憐れみの御心によって、高いところから
暁の光が我らを訪れ、照らし、われらの歩みを
平和の道に導く。

ルカによる福音書1章78節—79節
主よ、御もとに身を寄せます。とこしえに恥
に落とすことなく、恵みの御業によってわたし
を助けてください。あなたの耳をわたしに傾け、
急いでわたしを救い出してください。

詩編31章2節—3節

ルカによる福音書1章78節はヨハネの父親ザ
カリアの言葉で、「光」は神様の御恵みによっ
て訪れると言っています。私たちが「何かいい
ことをした」などの理由ではなく、神様の一方
的な計らいで「光」が訪れ、私たちが平和に導
いてくれることになると言っています。神様に
とっては人間のすることなど、取るに足らない
レベルでしょう。神様はそれをいちいち評価す
るなどケチなお方ではありません。この「暁光」
は当院の礎に記しました。私たちが何かをな
したからではなく、神様の見えないお力添えに
よって、日々責務を果たしてゆける感謝して
います。

また詩編31章2節は同じく神様の御恵みを求
めるダビデの賛歌です。ここでも神様は基本的
に我々を救う御恵みの姿勢でおられます。そし
てこの箇所はルターにとって「福音再発見」と
なりました。ルターはそれまでは、聖書のなか
の神様は「何をするな、どうせよ」などと、真
面目に捉えると、とてきついなことを言っ方
に見えて、「やっつけられない」と何度も苦しん
だと言います。そのために神様を恨むほどでし
た。しかしこの箇所によって、「神様はもとも
と私たちに恵みの御業をお授けになるつもりで
おられる」ということに気が付き、きつい修行
や多額の献金などで救われるのではない、と
確信できました。それによってルターは「全く
新しく生まれたように感じた」と述べています。
これによって宗教改革の基礎ができたといわれ
ています。

神様はいつも私たちを見ていてくださいます。
それは私たちが何か「いいこと」をしたから「なご
という「取引」ではなく、一方的な神様のお気持
ちです。神様は私たちが幸せにしようと考えて
くださっています。一方的に、です。なぜなら、
神様が私たちをおつくりになったからです。



巻頭言

院長 宇津宮 隆史

開院して25年が経過しました。この間の多くのことは開院25周年記念誌に記載しましたので、この1年でのことについて、振り返ってみます。まず、12年前から進めていた日本卵子学会の培養液開発が完成しました。13年前のことですが、理事会が終了し、その帰り際に、廊下で井上正人理事長(当時)が、「現在使われている培養液はほとんどが外国製で、そろそろ日本人に合った培養液が出てもいいのではないかと雑談風に話され、そばにいた私は即座に「そうです、日本でできれば便利で、もっといいものが作れると思います、やりましょう」と話しました。それがそのまま、日本哺乳動物卵子学会(現:日本卵子学会)培地開発委員会発足に繋がり、私は初めから副委員長を仰せつかっていましたが、2014年からは委員長になってしまいました。そのコンセプトとして、「日本人に合った」「ヒト卵管内液の分析による」「感染の心配のない」培養液ということで計画され、まず、ヒト卵管内液の採取が始まりました。全国の施設に呼び掛けて卵管内液を集めようとしたのですが、結局は当院の腹腔鏡時に採取したサンプル(100検体程)を送付し、それをもとに扶桑薬品工業株式会社の八尾竜馬研究員が分析、成分調整を行い、世界で初めて、ヒトの卵管内液組成をもとに作成された培養液が2017年6月より市場に出回ることになりました。現在当院にてその成績をチェックしていますが、従来の培養液に比べ、常に10%程成績が良いようで、先行きは明るいと思います。扶桑薬品はこれを広く世界に打って出る計画のようで、日本卵子学会も、また、当院も来年から国内は言うに及ばず、ヨーロッパ生殖医学会(ESHRE)、アメリカ生殖医学会(ASRM)などで積極的に発表していく予定です。

また、2017年8月から、日本産科婦人科学会主導の着床前スクリーニング(PGS)(着床前遺伝学的検査-異数性検査:PGT-A)のパイロット試験が開始されました。実際の実施施設は東京、大阪のクリニックと当院の3カ所で、各年齢グループ10例ごとに35歳から42歳までと限定的ですが、条件を厳しくして早く結論を出し、来年後半から、広く全国のクリニックが参加する多施設前方視的無作為比較試験を開始する予定です。すでに当院から遺伝子診断のために胚を藤田保健衛生大学の倉橋浩樹先生に送付しました。

今年ジュネーブで開催されたESHREやサンアントニオで開催されたASRMでもPGTのセッションに参加してきましたが、欧米ではPGTは行うのが当然で、それを考慮しなければ怠慢、不完全な生殖補助医療(ART)という雰囲気でした。これからも日本のARTの発展にいくらかでも寄与できるように当院も積極的にデータを提出していきたいと思えます。

ARTで最近顕著になってきたことは、患者の高齢化です。開院当初（25年前）の初診時平均年齢は30歳でしたが、2015年では34歳と、急激に高齢化しています。また、2011年に現在の大分駅上野の森口（南口）に移転してから、交通の便が良くなったこともあって、新患が増加し、高齢患者（35歳以上）が多くなりました。それに伴って、妊娠率は上昇したものの、最終的に妊娠をあきらめざるを得ない患者も増加しています。そのような方々の今後を患者夫婦と一緒に考えるのも我々の責務と思い、夫婦二人だけの生活を選んだ方々のお話を聞く会や、大分児童相談所の協力を得て養子縁組を勉強する会なども開催しており、様々な生き方、人生を考える機会の提供も行っています。

今こそ生殖医療は華やかに見えますが、現在40歳前後の患者さんはいわゆる第2次ベビーブーマーで、今後は不妊患者数が減少していくことは自明です。そうなったときにはそのクリニックのクオリティーが重要になります。今から本当の、本来の生殖医療の進むべき道を考え、模索し、大胆に実行していく方策を考えておかねばなりません。

別府平和園は皆様の温かいご支援のおかげで順調に発展してきています。昨今の傾向として、里親制度がかなり充実してきたことにより、それに起因する2次的現象がみられるようになってきました。国の政策により、養育環境に対する財政的保証も豊かになってきて里親制度が急激に伸びていますが、施設養育では、小規模施設、グループホーム養育が主体になってきていること、などがあります。それに対して、担うべき負荷の大きなケースがみられるようになってきたこと、そのような変化に対して比較的十分な経験を積んだスタッフが不足する危惧があること、施設としてのハード面の改良が要求されるようになってきたことなど、今から解決すべき問題点を整理し、早めに手を打っておかねばなりません。また、最近の現象として労働環境の考え方の現代化を直視すると、昔風のやり方では通用しなくなってきていることも現実として受け止めなければならない時期に来ています。子供たちが本当に安心して暮らせる、また、スタッフが伸び伸びと力を発揮できる平和園を目指してゆかねばなりません。幸い、それを実現するための人材はそろっています。一緒に考え、計画し、実行してゆきます。皆様もよろしくご支援ください。



セント・ルカ産婦人科 アルバム

大分癌・生殖医療研究会公開講座開催 2016

2016年12月3日 大分銀行 宗麟館 5階 大会議室

2016年12月3日(土)、大分銀行宗麟館にて、大分県内のがん治療施設に従事する医療従事者を対象とした公開講座を当院主催で開催しました。

〈対象：大分県内のがん治療施設関係者〉

特別講演

「若年がん患者の妊孕性温存

—がん・生殖医療 update]

高井 泰 先生

(埼玉医科大学総合医療センター産婦人科 教授
日本がん・生殖医療学会 副理事長)

「大分生殖医療ネットワーク発足後の

乳腺外来レポート]

久保田 陽子 先生 (うえお乳腺外科 外科医長)

「血液がんと妊孕性]

高野 久仁子 先生

(大分大学医学部 腫瘍・血液内科 特任助教)

「泌尿器がんと妊孕性]

安藤 忠助 先生

(大分大学医学部 腎臓泌尿器外科学 診療講師)

「がん患者における妊孕性温存治療の現状

～当院での取り組み～]

宇津宮 隆史先生 (セントルカ産婦人科 院長)

座長 榎原 久司 先生

(大分大学医学部産科婦人科学教室 教授)

主にがん治療関係者が参加され、妊孕性温存技術や、その技術の必要性について学び、各方面の医療者が連携をとり患者さんのQOL向上のために啓発していく必要性についてお話しがありました。



後列左から、高野久仁子 先生、久保田陽子 先生、安藤忠助 先生、
宇津宮隆史 院長、高井泰 先生、榎原久司 先生、上尾裕昭 先生

第24回セント・ルカセミナー

2017年6月16日

大分オアシスタワーホテル 3階 「紅梅の間」



(1)座長：宮川 勇生 先生

「輝く女性が日本の危機を救う」

吉村 泰典 先生 (内閣官房参与 /
慶応義塾大学名誉教授)

(4)座長：河野 康志 先生

「女性から見た出生前診断

～これまでの流れを取材して感じたこと」

河合 蘭 先生 (出産ジャーナリスト)

(2)座長：西山 幸男 先生

「北海道での着床前診断開始でみてきたこと」

遠藤 俊明 先生

(札幌医科大学医学部産婦人科学講座 非常勤講師)

(5)座長：田中 温 先生

「次世代型 PGD / PGS の現状と問題点」

倉橋 浩樹 先生

(藤田保健衛生大学総合医科学研究所)

(3)座長：檜原 久司 先生

「生殖発生医学における倫理と哲学」

森 崇英 先生 (京都大学名誉教授 /

NPO 法人生殖発生医学アカデミア理事長)



ランチョンセミナー座長：原 鐵晃 先生

「次世代シーケンサー (NGS) による技術革新：
PGS と子宮内菌解析」

桜庭 喜行 先生 (Varinos 株式会社代表取締役)



前列左から、田中温 先生、檜原久司 先生、森崇英 先生、宇津宮隆史 院長、吉村泰典 先生、吉村陽子 先生、宮川勇生 先生
後列左から、倉橋浩樹 先生、西山幸男 先生、河野康志 先生、原鐵晃 先生、遠藤俊明 先生、河合蘭 先生、桜庭喜行 先生、
河邊史子 先生、甲斐由布子 先生、伊東裕子 先生

第5回 性教育セミナー

2017年6月25日

『大切にしよう 僕と私の生と性』

ホルトホール大分



「生も性も覚悟をもって～自分よりも大切な人ができるまで」

講師：金子 法子 先生 (針間産婦人科 院長)



日本産婦人科学会専門医、日本感染症学会認定医
母体保険法指定医
日本産婦人科学：女性のヘルスアドバイザー
日本産婦人科医会：医業推進委員会委員
山口県産婦人科医会理事、山口県立大学非常勤講師
宇部市こども支援ネットワーク協議会会長
第5回西予市おイネ賞全国奨励賞受賞
H29年度山口医師会功労賞受賞

座長：貞永 明美 先生 (貞永産婦人科院長)

「自分をたいせつに、他のひとをもっとたいせつに」

講師：松隈 孝則 先生 (松隈産婦人科クリニック 院長)

日本産婦人科学会 専門医
日本思春期学会会員
九州思春期研究会 理事
2005年～「おごおり思春期教育懇話会」を13年間主宰

座長：谷口 久枝 先生 (やぐちレディースクリニック院長)



▲左から、甲斐由布子 先生、谷口久枝 先生、貞永明美 先生、松隈孝則 先生、金子法子 先生、宇津宮隆史 院長、河邊史子 先生

今回は天候が悪い中、総勢約77名の参加でした。また保護者や子供たちから積極的な質疑が行われ、性教育に対する関心の深さを伺えました。

(子供の感想)

体はとっても大事で、すごいところなんだなと感心した。自分の事もよく分かったし、女子の体の事もわかって良かった。

第35回 日本受精着床学会（鳥取）

2017年7月20日～21日

世界体外受精会議記念賞（臨床の部）受賞!!



演題：

『ヒト胚盤胞の栄養外胚葉と
内細胞塊の染色体構成についての検討』

研究室：城戸 京子

胚盤胞の染色体はすべての細胞で同じなのか？
PGSを実施するにあたり胚盤胞の染色体構成を知っておくことは
重要と考え、検討を行いました。

第16回 生殖バイオロジー東京シンポジウム（東京）

2017年9月3日



学術奨励賞受賞!!

演題：

『マウスを用いた
シクロフォスファミド(CPA)
投与回数による妊孕能回復への影響』

研究室：小池 恵

今回、これまでに生殖毒性があるといわれている抗がん剤シクロフォスファミドをマウスに投与し、投与後の胚発育と産まれた産仔の生存能が投与期間を開けることで回復するのかということについて検討を行いました。

ESHRE 2017 (ヨーロッパ生殖医学会)

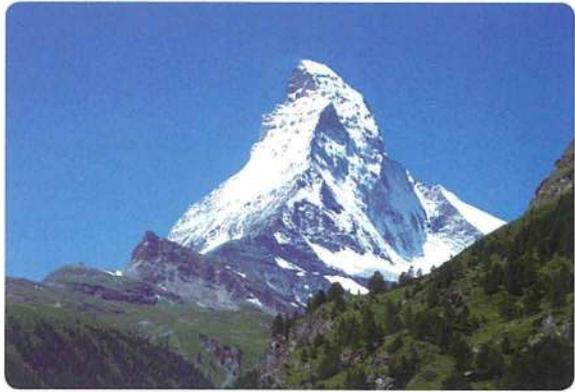
2017年7月3日～5日(スイス, ジュネーブ)

会場: palexpo Saconnex Switzerland



ESHRE2017に参加させていただきました。
今回、発表はありませんでしたが、その他の生殖医療に関する発表が多くあり、刺激を受けました。学会の他にも、マッターホルンやモンブランなどのスイス周辺の山に連れて行っていただきました。とても良い経験になりました。(S. T)

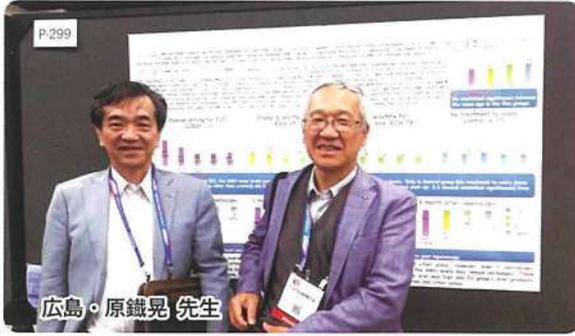
青い空に白いマッターホルン。こんなに近いところに私が居るなんて夢のようで地球の大きさを感じました。冥土の土産にいたします。(C. Y)



ASRM 2017 (アメリカ生殖医学会)

2017年10月30日～11月1日(アメリカ, サンアントニオ)

会場: ヘンリー・B・ゴンザレス コンベンションセンター



演 題 [Impact of pre and post laparoscopic ovarian treatment on ovarian reserve with infertile women : prospective study]

第73回のASRMで、ラパロ前後の卵巣予備能の変化について、ポスター発表をさせていただきました。世界各国の演題が多数あり、とても勉強になりました。(M. N)

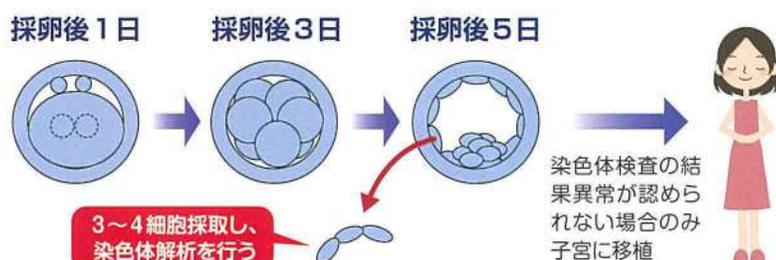
ASRM2017に参加させていただきました。アメリカの生殖医療の現状について学ぶことができ、たくさん刺激を受けてきました。(N. K)



研究室だより

着床前遺伝子スクリーニング (PGS) の有用性に関する多施設共同研究のためのパイロット試験について

わが国では、年間4万人以上の赤ちゃんが体外受精・胚移植などの高度生殖補助医療により生まれています。最近では、治療を受ける女性の高齢化などにより、何回治療してもなかなか妊娠に至らない例や、流産を繰り返して赤ちゃんが産めない例が増えてきました。この理由の一つに受精卵の染色体異常があります。染色体数に異常があると着床しなかったり流産してしまいます。最新の遺伝解析技術を用いて受精卵の染色体数を調べ、数の異常がない受精卵を子宮に戻すことで流産率を減らそうという試みが行われています。日本では倫理的理由からこれを行わないようにしてきましたが欧米ではすでにかかなり以前から行われています。日本でもこの検査を始めるために本当に有効かどうか調べようとまずは少人数から予備試験を行っています。よい結果ができれば、有効な検査方法として広く活用されることになると考えられます。



実施施設

- 名古屋市立大学医学部 産婦人科
- 加藤レディースクリニック
- IVF大阪クリニック
- セント・ルカ産婦人科

胚の発育に対してより生理的な環境に近づけた培養液が誕生しました

2006年、日本卵子学会は、「日本人に合った」「初めての純国産の」培養液を開発することを目標とし、培地開発委員会を発足しました。

扶桑薬品工業株式会社が協力に手を挙げ、ヒト卵管内液の組成を詳細に分析し培養液として完成させるという開発プロジェクトが開始しました。当院の院長が積極的に関わり推進し、2014年より培地開発委員長を務めています。そして11年の年月を経てついに完成、安全性、安定性の試験をクリアし2017年6月に商品化されました。

現在、先行販売期間として培養成績のデータ協力を日本卵子学会会員施設にお願いし、データ収集を行っています。有効性が明らかとなるのも間近です。

これまで体外受精用の培養液のほとんどを輸入品に頼ってきました。この新しい国産の培養液の臨床的有効性に期待が高まっています。

HiGROW OVIT

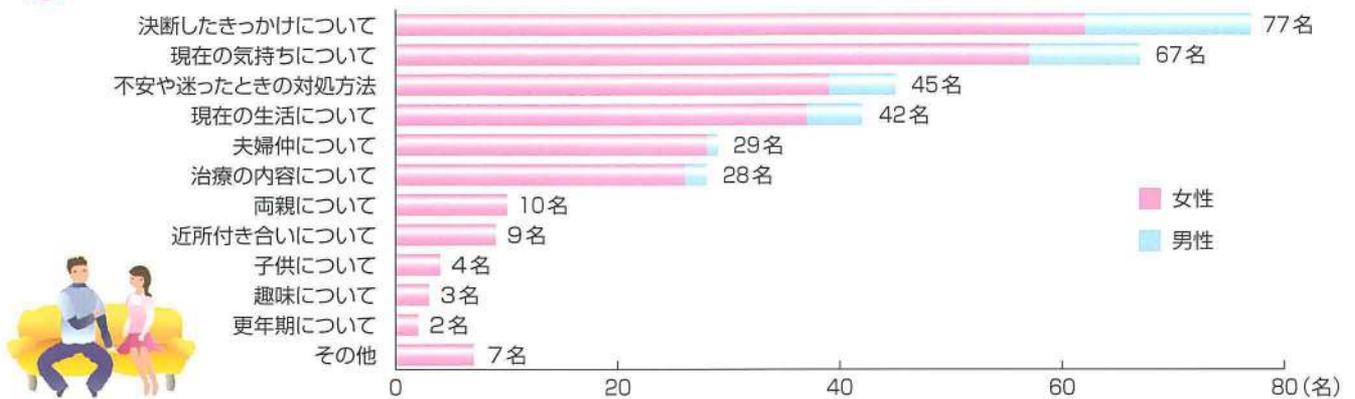


看護部だより

不妊治療終結における患者サポートに関する検討 ～「ご夫婦2人の人生を選択した、元患者さんのお話」を開催して～

当院では2004年から「ご夫婦2人の人生を選択した、元患者さんのお話」という会を開催しています。これまでに参加された患者さんや、話題提供にご協力いただいた元患者さんのお話のまとめを報告したいと思います。これまで調査に協力して下さった、当院の患者さんに感謝致します。

1 このようなお話をしていただく方に何を望みますか？（参加した患者さんに行った質問紙より）



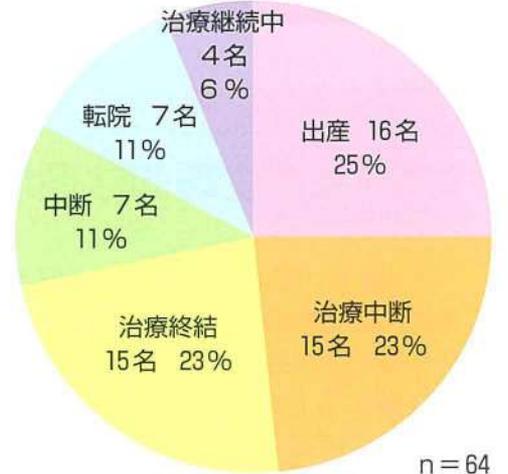
2 話題提供者（元患者さん）のお話の中から

- 治療中**
- 治療中は今までに経験したことのない、独特な辛さがあった。頑張りようのない辛さ。
 - 治療中は寛大な気持ちになれなかった。
 - 諦めきれず、どこで区切りをつけるか悩んだ。
 - 「もしかすると次は」と思うと、最後まで決めることができなかった。

- 治療終結時**
- 子どもを育てる時の自分の年齢を考えるようになって、断念することを決心した。
 - 諦めるきっかけになったのはこの会に出席したこと。
 - 治療は辞めたが、サークルには2年通った。サークルの最後の時が本当に治療を辞めた時だった。
 - 最終決断できたのは、院長からの「（次の治療）どうするね」だった。

- 終結後**
- 今でも妊娠してないかなって、諦めてはいない。
 - 2人だけの生活ですが、それぞれ好きなことをして自由な時間を楽しんでいる。

3 この会に参加された患者さんのその後



この会の終了後に行った質問紙での、「このようなお話をしていただく方に何を聞きたかったか」との問いには、「決断したきっかけ」、「現在の気持ちについて」という回答が多くありました。

話題提供者（元患者さん）からは、治療中や治療終結時、治療終結後の生活など貴重な経験談を語って頂きました。話題提供者（元患者さん）自身が治療経験者である為、参加している患者さんの気持ちを汲み取ることができ、参加した患者さんの必要としている、情報提供ができていました。

この会に参加された患者さんのその後に関しては、妊娠後「出産」に至った方が最も多く、次いで「治療中断」、「治療終結」でした。

今後も患者さんの1つの選択肢である情報提供の場として、この会を継続していきたいと思っております。

「ご夫婦2人の人生を選択した、元患者さんのお話」は毎年秋ごろ開催しています！興味のある方はスタッフまでお声掛けください。開催は院内の掲示・ホームページにて案内させていただきます。

次回は
1/20(土)

セント・ルカ産婦人科 アルバム



忘年会 2016年12月10日(土)

お世話になっている先生方や業者さん方を招いて日ごろの感謝。今年一年お疲れさまでした。



レク係さん
お疲れ様でした！



スタッフの出し物



新人



今年の院長賞は受付情処厨房・河邊先生チームでした！



看護部



二次会でも色々なゲームをしてみんな盛り上がり楽しんでました。



ラボ





クリスマス会

2016年12月22日(木)



吹き抜けの待合室で、野村陽一牧師先生のクリスマスのお話を聞き、みんなでクリスマスソングを合唱しました。

アンサンブル
ルーチェの方々の
生の演奏と歌声に
感動し楽しむこと
ができました。



お茶会では厨房さん
手作りのクッキーの家や
リースのパンをいただき
みんなで一緒に楽しいひ
と時を過ごすことができ
ました。



お花見

2017年4月1日(土)

今年はまだ、桜が全く咲いてなくて(+_+) お花は見られませんでした。恒例のバーベキューで美味しいお肉を頂き、皆それぞれに楽しく会話も弾んでいました。新人さんの出し物、二人羽織も楽しませてもらい、職員の親睦が一層深まりました！



セント・ルカ産婦人科 開院25周年 2017年6月3日(土)

開院25周年を迎えました！

スタッフ各々の仕事に責任を持って行動し、患者さんに安心して通院して頂けるようなチーム医療を目指し、提供していきたいと思えます。



開院から2016年12月までの成績

外来患者数	—————	26,183人
男性	—————	9,617人
女性	—————	16,566人
拳児希望女性数	—————	12,840人
妊娠件数	—————	8,221件
妊娠に至らなかった女性	—————	5,972人
患者あたりの妊娠率	—————	53.5%
	〔(12,840-5,972) / 12,840〕	
※治療を途中で諦めた女性	—————	5,747人
実妊娠率	—————	96.8%
	〔(12,840-5,972) / (12,840-5,747)〕	





避難訓練

2017年6月20日(火)・11月21日(火)

厨房から火災発生!



消火訓練も行いました。
水圧がすごいので一人
では持てません!



徳島阿波踊り

2017年8月14(月)～15日(火)

初めて見る阿波踊りはとても迫力があり魅了されました。また参加したいです。(S. A)
 人の多さに驚きました。踊り方は見よう見真似で踊ったのですが、やはり地元の方々の踊りは違いました！
 貴重な体験ができ、楽しい時間を過ごすことができました。(A. Y)
 徳島大学産婦人科の先生方、ありがとうございました！！



医局より



医局 河邊 史子

2017年4月1日付で生殖医療専門医に認定されました

2014年4月から生殖医療専攻医として講習を受け、2016年12月生殖医療専門医試験を受けました。1993年に医師国家試験、1998年産婦人科専門医試験を受けてから、実に18年ぶりの受験でした。専門医に認定されたからといって今までとできることは変わらないのですが、より良い医療を提供できるようにこれからもがんばります。

生殖医療とは直接関係ありませんが、2017年1月31日付で日本医師会認定健康スポーツ医にも認定されました。現在日本空手道連盟大分剛柔会の大会ドクターとして修業中です。もっと勉強してすべての女性の健康のサポートもできるようになりたいです。



新人紹介



渡邊 美智代
(看護部)

1日でも早く仕事を覚えたいと頑張っています。これからも先生方をはじめ、スタッフの皆様には迷惑をおかけする事も多くあると思いますが宜しくお願い致します。



秦岡 智美
(看護部アシスタント)

医療系の職種は初めてで、入社当初は分からないことばかりでしたが、患者さんと一緒に新患教室や体外受精教室に参加させていただいたり、看護師の皆さんにご指導いただきながら日々学ばせていただいております。今後も色々吸収していきたいと思します。宜しくお願い致します。



土谷 里沙
(看護部アシスタント)

医療機関で働くのは初めてなので知識も経験ありませんが、日々誠実に仕事に向き合っていきたいと思します。



川内 玲菜
(受付)

今まで医療機関で勤務した経験がなく、最初は戸惑うことも多かったですが、日々先輩方からご指導いただきながら務めさせていただいております。患者さんからの質問などにも、分かり易くお答えできるよう精進していきたいと思っておりますので、よろしく宜しくお願い致します。



平田 春菜
(受付)

専門的な知識が必要な環境の中で毎日たくさんの刺激を受けています。皆さんが安心して通院できるよう勉強していきますので、宜しくお願い致します。



瀬戸口 美和
(情報処理室)

セント・ルカ産婦人科25周年の節目の年に入職しました。これまで院長先生方が築き上げてこられたルカの歴史からも多くのことを学びながら、早く一人前になれるよう真摯に仕事に取り組んでいきたいと思します。



後藤 彩美
(情報処理室)

病院での仕事は初めてなので、日々勉強に励んでおります。これからも初心を忘れずに頑張ります。よろしくお願ひします。



橋 るい
(研究室)

社会人経験がなく、覚えることも働くことも初めての状況の中で緊張しながら日々を過ごしています。ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、一日でも早く、病院や患者さんのお役に立てる人材になりたいと思しますので、これからもご指導よろしくお願ひします。

受付より

体温表について



体温表がタブレットで入力できるようになりました！
以前の体温表用紙に記入していただくより、格段に負担軽減、スピーディにご入力いただけます。



体外受精料金表について

料金は採卵した回数が多くなるにつれ金額は低くなります。

(下の表は1～3回までの料金です)

《4回目以降の料金表は受付にてお渡ししております》

採卵回数		採卵	培養 (2～3日)	胚盤胞期 培養	凍結	胚移植
1～3回	通常体外受精・胚移植	80,000	110,000	30,000		70,000
	凍結胚融解・移植		70,000	30,000		70,000
	採卵培養後移植・ 余剰胚凍結	80,000	110,000	30,000	65,000	70,000

・顕微授精 (¥30,000) 2個目以上～1個ごとに ¥3,400

・精子凍結1本目¥10,000 2本目～1本ごとに ¥5,000

・精子融解1本ごとに¥3,000

・凍結胚融解2本目～1本ごとに¥3,000

・凍結保存料 3ヵ月 ¥10,000

* 上記の基本価格の他に手技料として

顕微授精 (¥30,000)+使用材料 (¥20,000～)+部屋代 (採卵日¥4,500+入院管理料 (採卵日¥9,516)が必要で

* 体外受精1回目通常パターン

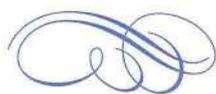
$$\left[\begin{array}{c} \text{採卵} \\ 80,000 \end{array} \right] + \left[\begin{array}{c} \text{培養} \\ 110,000 \end{array} \right] + \left[\begin{array}{c} \text{胚移植} \\ 70,000 \end{array} \right] + \left[\begin{array}{c} \text{使用材料} \\ 29,000 \end{array} \right] + \left[\begin{array}{c} \text{部屋代} \\ 4,500 \end{array} \right] + \left[\begin{array}{c} \text{入院管理料} \\ 9,516 \end{array} \right] = 303,016$$

* 採卵した顕微授精の数によって、料金に個人差があります

胚移植の場合

・時間外追加料金 ¥20,000

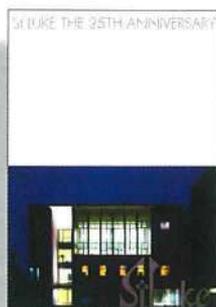
・休日追加料金 ¥20,000



情報処理室より



開院25周年記念誌を発行しました

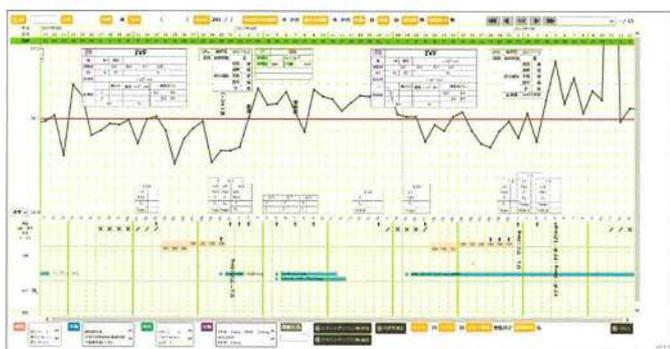


当院では、年に1度、開院からの診療データをまとめた年報を発行しています。

2017年は開院25周年を記念して、開院25周年記念誌を発行しました。

内容は、開院からの診療データ、写真で振り返るセント・ルカの25年、過去の新聞掲載記事など、ルカの歴史が感じられる一冊となっています。

2017年4月より体温表システムを導入しました



これまで紙で管理していた体温表をIT化するため、院内のIT委員を中心にシステムの開発に着手し、2017年4月、体温表システムの運用を開始しました。

運用開始以降も少しずつ改良を重ね、使いやすいシステムへと進化を続けています。

情報処理室の仕事紹介

- 当院を卒業した患者さんの出産時の状況およびお子さんの1歳半／3歳／就学前健診頃の発育調査
- 院長はじめスタッフの業務サポート
- ホームページの更新および管理
- 院内システムおよびサーバー／パソコンなどの機器管理
- 年報／開院記念誌の作成および開院記念行事であるセント・ルカセミナーの企画・運営
- 日本医療研究開発機構 (AMED) 研究開発課題：生殖補助医療の技術の標準化と出生児の安全性に関する研究－分担研究「ART 出生児の長期予後調査」実務

等々、患者さんと接する機会が少ない情報処理室ですが、陰ながらセント・ルカ産婦人科を支えています！



心理相談室より



里親・養子縁組について

里親制度とは

親の病気・離婚などさまざまな事情により、生まれた家庭で生活をする事ができない子どもを家庭的であたたかい雰囲気の中で養育するという児童福祉法に基づく制度です。

※養子縁組希望里親申請の年齢要件を「25歳以上50歳未満」、子どもとの年齢差を「45歳以内」としています。

里親制度の種類

①養育里親（養子縁組を前提としない里親：一定期間の養育を行う）

※家庭状況や意向に応じたいろいろなタイプがあります

- 赤ちゃん短期
- 乳幼児の長期
- 小学生短期
- 小学生長期
- 中高生長期 等

②養子縁組希望里親（将来的に養子縁組を行う里親）

養子縁組が成立すると法律上の親子になります。

※子どもの名字は里親委託後から里親姓を使用します。



新生児委託について

▶ 病院から直接里親へ委託すること

▶ 妊娠中に里親に打診し、委託予定里親を決定する

▶ 親が出産した病院から育児指導を受け退院時に引き取る

※留意点

- 障害などの可能性を含めて全てのことを受け入れる覚悟が必要
- 出産後に親の意向が変わる可能性がある
- 性別にこだわらないことが必要になる
- 養育に専念できる環境が必要になる



資料参照：大分県中央児童相談所

当院では、2016年から大分県中央児童相談所と連携し「里親・養子縁組説明会」を開催しております。会では、**不妊治療～特別養子縁組をしたご夫婦からのお話**もあります。一部抜粋し紹介します。

- 治療を10年していた。身近に縁組で子育てし、その成長を間近で見ていることで気持ちが少しずつ動いてきた。夫は、治療をしている妻を見ているのがとても苦しかったので、縁組が一つの希望となった。
- お互いの両親に相談する時は緊張したが、双方とも喜んで後押しをしてくれた。
- マッチングの時に、子どもがつかまり立ちで近寄って来てくれ、お試して家に連れて帰る時もニコニコして車に乗ってくれた。自分達の顔もニコニコしていたし、徐々に心から笑顔だと実感した。二人の時では味わえなかった喜びを感じた。しばらくして、市役所で戸籍登録した時は、うれしくて記念写真を撮った。
- 治療もそうであるが、縁組も夫婦が同じ気持ちでないといけない。双方の両親は孫ができた喜び、周囲の対応も自然で、普通のパパとママになった。他の子どもを見る視点が変わり、子どもからも日々育てられている。今まで縁組だからと壁を作っていた自分が恥ずかしいと思う。親になれて良かった。

日々の相談の中で、治療期間が長くなっている、不妊要因を受け治療が困難になってきたなど、様々な理由から縁組を考えているという相談が少しずつ増えていると感じます。

その中で、各個人の中では思っている、ご夫婦で共有できていないケースが多いと感じます。重く捉えずに、会話の一つとして気軽に話題にしてもらえると良いかと思います。

上記制度は、ごく一部のご紹介であり、他にも様々な規程や支援制度があります。パンフレットの掲示、準備もしております。気軽に声をかけてください。

厨房より

クリスマス会

毎年クリスマスの時期になると、ルカでは、クリスマス会を開催しています。

聖書の学びやアンサンブル・ルーチェによる演奏や合唱があり、心休まる時間を過ごすことが出来ます。



開催するにあたって、厨房ではシュトーレンやフルーツケーキ、リースパンやパネトーネ、お菓子の家を作っています。

日本で定番のクリームの付いたケーキはありませんが、外国のクリスマスのお菓子を一度味わってみてはいかがでしょうか？

厨房一同、心待ちにしつつ、腕によりをかけて準備しているので、皆さんもぜひ参加してみませんか？



家庭の食卓にもう1品

かぼちゃの煮物 (5皿分)

【材 料】

- ・かぼちゃ … 300g
- ・オクラ …… 5本

煮汁

- ・水 …………… 1カップ
- ・だし …………… 少々
- ・砂糖 …………… 大さじ1
- ・醤油 …………… 大さじ1
- ・みりん ……… 大さじ1
- ・酒 …………… 大さじ1

(1皿あたり：
エネルギー 75 kcal
たんぱく質 1.6g 脂質 0.2g 塩分 0.6g)



ルカで提供している煮物の味付けは基本1:1:1:1で作っています。

食べ合わせ

かぼちゃ：ビタミンEやβカロテンが多く含まれている。

◎ビタミンE → 強力な抗酸化作用があり、細胞を酸化から守ってくれる。また、血管を広げ、血流をよくする働きがある。
→ 肩がこる、体が冷える人にはオススメです。

※ビタミンC (緑黄色野菜や、いも類、果物に豊富) を合わせることで、ビタミンEの抗酸化力をさらに高めてくれる。

◎βカロテン → 皮膚や粘膜を強くする働きがある。

※厚揚げなどといっしょに煮たり、バターで炒めるとかぼちゃのβカロテンが効率よくとれ、免疫力を高めてくれる。

オクラ：低エネルギーで栄養価が高い。

◎食物繊維の一種ペクチンと糖たんぱく質の一種ムチン (ネバナのもと) → コレステロール値を下げ、腸内の善玉菌を増やします。

※ムチンが肉や魚に含まれるたんぱく質の消化・吸収を助け、代謝を高めて体を元気にする。

2017年を振り返って

01.04	新年会(セント・ルカ多目的室)	03.25	第235回 体外受精教室 参加者52名 参加(後藤彩、瀬戸口、川内、越名、後藤厚、佐藤、土谷、穴井、秋吉、古川、手島、稗田)
01.04	新職員 瀬戸口美和(情報処理室)	03.25	第68回 ガーネットサークル OG 1名、参加者4名
01.07	第101回 新患教室 参加者47名 参加(瀬戸口、川内、濱、後藤厚、大津、土谷、三重野、戸高、手島、足立、稗田)	03.28	安全管理研修:手指衛生の基本(担当:看護部)
01.10	第214回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院	03.28	第26回 セント・ルカ産婦人科倫理委員会 倫理委員長:野村陽一先生(日本福音ルーテル大分教会 牧師) 倫理委員:上野徳美先生 (大分大学医学部医学科社会心理学 教授)、 緒方俊一先生 (わさだかかりつけ医院泌尿器科クリニック 院長)、 河野浩先生(河野・千野法律事務所 弁護士)、 後藤裕子(セント・ルカ産婦人科 看護師長)、 近藤邦子先生(別府平和園 園長) (五十音順)
01.14	第233回 体外受精教室 参加者48名 参加(瀬戸口、川内、濱、後藤厚、佐藤、熊迫、土谷、三重野、北田、松土、稗田)	04.01	新職員 橋るい(研究室・培養室)、秦岡智美(メディカルアシスタント)、田代仁美(看護部)
01.14	第21回 日本生殖内分泌学会学術集会(大阪) 参加(後藤音) 発表:「子宮内膜間質細胞の脱着膜化におけるプロテアーゼ 活性化型受容体(PAR)-1を介した細胞機能調節の変化」 (後藤香里)	04.01	第103回 新患教室 参加者50名 参加(後藤彩、瀬戸口、大城、橋、城戸、秦岡、土谷、田代、穴井、秋吉、古川、坂本、松土)
01.16	新職員 古川綾子(看護部)	04.01	セント・ルカ産婦人科 & メディック・ルカ合同お花見 (大分・平和市民公園)
01.18	第232回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分) 参加(甲斐、河邊、院長)	04.01	日本生殖医学会 生殖医療専門医認定(河邊史子)
01.21	第38回 日本エンドメトリオシス学会(東京) 参加(手島、越光、院長) ワークショップ講演:「腹腔鏡下アルコール固定術」(院長)	04.03	体温表システム稼働
01.23	おおいたインフォメーションハウス「大分県の専門医に聞く! 体のこと心のこと〜気になる症例を紹介〜」取材	04.05	「AIDで生まれた人の出自を知る権利を保障する」勉強会(東京) 参加(院長)
01.28	第8回 遺伝カウンセリング・アドバンスセミナー(東京) 参加(院長)	04.06	福岡臨床遺伝研究会(福岡) 参加(院長)
01.31	日本医師会 健康スポーツ医認定(河邊史子)	04.07	第45回 大分市医師会産婦人科・内分泌・不妊・代謝一懇話会(大分) 参加(後藤彩、瀬戸口、山路、安部、矢野、川内、青木、濱、大城、越名、橋、小池、佐藤、後藤音、長木、大津、秦岡、土谷、田代、穴井、秋吉、戸高、坂本、北田、赤嶺、手島、松土、越光、後藤裕、稗田、甲斐、河邊、院長)
02.02	福岡臨床遺伝研究会(福岡) 参加(院長)	04.08	第13回 九州産婦人科内視鏡手術研究会(福岡) 参加(戸高、越光、甲斐、河邊、院長)
02.04	第67回 「赤ちゃん〜今ならきつと授かる〜」講座(大分・トキハ会館) 参加者67名 講師(越名(受付)、後藤裕(看護師長)、稗田(臨床心理士)、院長、 わさだかかりつけ医院泌尿器科クリニック 緒方俊一先生) 参加(瀬戸口、安部、川内、青木、越名、小池、土谷、足立、 後藤裕、稗田)	04.09	第74回 九州・沖縄生殖医学会(福岡) 参加(小池、大津、戸高、手島、越光、後藤裕、甲斐、河邊、院長) 発表:「マウスを用いたシクロフォスファミド(CPA)投与における 妊産能回復への影響」(小池恵) 「ヒト胚の動的変化時間と染色体数的異常の関係」 (大津英子)
02.07	第215回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院	04.11	第10回 PGSに関する小委員会(東京) 参加(院長)
02.15	大分合同新聞記者 取材の為にご来院	04.14	第69回 日本産科婦人科学会(広島) 参加(甲斐、院長)
02.17	体温表電子化に向けた打ち合わせ 是永道夫先生ご来院	04.15	第1回 第11期オリープの会 参加者9名
02.18	日本生殖心理学会役員会(愛知) 参加(院長)	04.16	JAPCO(Japan PGD Consortium)準備会(広島) 参加(院長)
02.18	日本生殖心理学会 生殖心理カウンセラー第8回継続研修会(愛知) 参加(稗田)	04.18	第217回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院
02.19	第14回 日本生殖心理学会・学術集会(愛知) 参加(坂本、稗田、院長) 発表:「流産経験のある夫婦の会について」(坂本順子) 「配偶子凍結を行った未成年患者が 成人へ達した時の親の気持ち」(稗田真由美)	04.22	第236回 体外受精教室 参加者71名 参加(後藤彩、瀬戸口、川内、大城、橋、佐藤、後藤音、秦岡、土谷、 田代、穴井、秋吉、亀井、後藤裕、稗田)
02.24	日本産科婦人科学会 PGS実務者会議(東京) 参加(城戸、大津、院長)	04.23	JISART 臨床成績入力・運用に関する疑問を解消する会(大阪) 参加(安部)
02.25	第234回 体外受精教室 参加者68名 参加(瀬戸口、川内、青木、後藤厚、佐藤、後藤音、土谷、松土、稗田)	04.25	平成29年度 大分県母性衛生学会 第1回打ち合わせ会(大分) 参加(越光、後藤裕)
02.26	第2回 JISART 研究倫理に関する講習会(東京) 参加(大津、稗田、院長)	05.09	第218回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院
02.28	第122回 大分県周産期研究会(大分) 参加(瀬戸口、山路、安部、油野、川内、青木、濱、大城、越名、小池、 佐藤、城戸、後藤音、熊迫、大津、土谷、戸高、坂本、北田、 亀井、赤嶺、手島、越光、後藤裕、稗田、甲斐、河邊、院長) 発表:「がん患者のための妊孕性温存治療」(熊迫陽子) 「当院で妊娠し生まれた児の健康調査」(甲斐由布子)	05.10	第234回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分) 参加(河邊)
03.01	新職員 秋吉裕美(看護部)	05.13	ART女性クリニック新本館落成祝賀会・講演会(熊本) 参加(院長) 講演:「私の考える今までとこれからの生殖医療 ー開業25年にあたって」(院長)
03.01	平成28年度 大分県医師会学術講演会 参加(甲斐、院長)	05.14	JISART 施設認定審査 審査員(稗田)
03.04	平成28年度 日本卵子学会 第7回理事会(東京) 参加(院長)	05.16	マネジメントレビュー
03.04	日本受精着床学会 第13回 ART生涯研修コース(東京) 参加(小池、熊迫) 実技担当講師:熊迫陽子	05.18	大分県立看護科学大学(大分)講義 参加(後藤彩、瀬戸口、安部、川内、橋、秦岡、土谷、穴井) 講義:「不妊症講座」(院長)
03.05	がんと生殖に関するシンポジウム2017(東京) 参加(小池、熊迫、院長)	05.20	第68回 「赤ちゃん〜今ならきつと授かる〜」講座(大分・トキハ会館) 参加者103名 講師(越名(受付)、後藤裕(看護師長)、稗田(臨床心理士)、院長、 わさだかかりつけ医院泌尿器科クリニック 緒方俊一先生) 参加(後藤彩、瀬戸口、安部、川内、濱、越名、橋、秦岡、穴井、 坂本、後藤裕、稗田)
03.06	新職員 後藤彩美(情報処理室)、穴井千暁(看護部)	05.25	株式会社バズラボ フリーマガジン「ジネコ」秋号(Vol.35)取材
03.07	第216回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院	05.27	第237回 体外受精教室 参加者43名 参加(後藤彩、瀬戸口、油野、越名、後藤厚、橋、小池、佐藤、 後藤音、秦岡、土谷、穴井、亀井、稗田)
03.10	日本受精着床学会 平成28年度 第3回常務理事会(東京) 参加(院長)	05.27	2017年度(第11期)生殖医療相談士養成講座(東京) 参加(青木)
03.11	第102回 新患教室 参加者78名 参加(後藤彩、瀬戸口、川内、青木、後藤厚、後藤音、土谷、穴井、 秋吉、古川、松土、足立、稗田)		
03.13	株式会社バズラボ フリーマガジン「ジネコ」夏号(Vol.34)取材		
03.18	日本生殖再生医学会役員会(東京) 参加(院長)		
03.18	日本 A-PART 役員会(東京) 参加(院長)		
03.19	日本 A-PART 学術講演会2017(東京) 参加(小池、戸高、後藤裕、稗田、院長) シンポジウム講演:「ルテウム腔用坐剤」(院長) 「日本 A-PART 臨床研究年次報告 & 加盟施設アンケート報告 がん患者卵子保存の現状」(院長) 発表:「当院の新患教室のアンケートから 現在の患者の動向を比較する」(戸高里美) 「配偶子凍結を行った未成年患者が 成人へ達した時の親の気持ち」(稗田真由美)		
03.19	第12回 日本生殖再生医学会(東京) 参加(後藤音、大津、院長) 発表:「子宮内膜間質細胞の脱着膜化におけるプロテアーゼ 活性化型受容体(PAR)-1を介した妊娠維持に向けた 細胞機能調節の変化」(後藤香里) 「ヒト胚の動的変化時間と染色体数的異常の関係」(大津英子)		

05.28	あすか製薬主催 ルテウム腔内注射剤に関するアドバイザリー会議(東京) 参加(院長)	07.01	2017年度(第11期)生殖医療相談士養成講座(東京) 参加(青木)
05.30	第3回 里親・養子縁組の説明会〜治療後に里親・縁組をされた方のお話〜	07.03	33rd Annual Meeting of the European Society of Human Reproduction and Embryology (Geneva) 参加(矢野、手島、事務長、院長)
06.02	新職員 渡邊美智代(看護部)	07.04	第14回 大分県母性衛生学会実行委員会(大分) 参加(越光、後藤裕)
06.02	第58回 日本卵子学会学術集会(沖縄) 参加(小池、大津、院長) 発表:「マウスを用いた妊孕能回復に対するシクロフォスファミド(CPA)投与の影響」(小池恵)「ヒト胚の動的変化時間と染色体数異常の関係」(大津英子)	07.09	平成29年度 大分産科婦人科学会・大分県産婦人科医会総会(大分) 参加(甲斐、河邊)
06.03	日本卵子学会 第17回培地開発委員会(沖縄) 参加(院長)	07.11	第220回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院
06.03	第2回 第11期オリーブの会 参加者6名	07.15	第8回 遺伝カウンセリング研修会(京都) 参加(院長)
06.09	第235回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分) 参加(後藤彩、瀬戸口、安部、油野、川内、青木、瀧、大城、越名、橋、神田、後藤香、長木、大津、秦岡、土谷、渡邊、穴井、坂本、北田、亀井、赤嶺、手島、足立、松元、越光、後藤裕、甲斐、河邊、院長) 座長:特別講演「不妊治療の現状と今後の展望 ―内服症合併不妊を含めて―」(院長)	07.18	AMED 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 司原班平成29年度班会議(東京) 参加(院長)
06.10	第104回 新患教室 参加者76名 参加(後藤彩、瀬戸口、川内、瀧、橋、神田、秦岡、土谷、渡邊、穴井、戸高、松土、稗田)	07.19	日本受精着床学会常務理事会(鳥取) 参加(院長)
06.10	第10回 JISART 医療事務教育セミナー(愛知) 参加(大城)	07.20	第35回 日本受精着床学会総会・学術講演会(鳥取) 参加(小池、城戸、戸高、手島、後藤裕、院長) 座長:シンポジウム「生殖医療と生まれ来る子供達の未来」(院長) 発表:「マウスを用いたシクロフォスファミド(CPA)投与による妊孕能回復への影響」(小池恵)「ヒト胚盤胞の栄養外胚葉と内細胞塊の染色体構成についての検討」(城戸京子)【世界体外受精会議記念賞(臨床)受賞】
06.10	第10回 JISART ラボ教育セミナー(愛知) 参加(熊迫)		「当院の新患教室のアンケートから現在の患者の動向を比較する」(戸高里美)
06.10	第14回 JISART 看護教育セミナー(愛知) 参加(手島)		「不妊治療終結における患者サポートに関する検討〜『ご夫婦2人の人生を選択した、元患者さんのお話』を開催して〜」(手島しおり)
06.11	第15回 JISART シンポジウム(愛知) 参加(大城、手島、熊迫、院長) 講演:「第2代執行部としてJISARTの目指したこと」(院長)	07.21	第1回 JAPCO (Japan PGD Consortium) 会議(鳥取) 参加(城戸、院長)
06.13	第219回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院	07.21	第237回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分) 参加(甲斐、河邊)
06.13	院内全体研修: 授遇(担当: 受付)	07.22	第239回 体外受精教室 参加者71名 参加(後藤彩、瀬戸口、油野、川内、青木、後藤厚、橋、神田、後藤香、秦岡、土谷、渡邊、越光、稗田)
06.17	第238回 体外受精教室 参加者41名 参加(川内、瀧、橋、神田、後藤香、秦岡、土谷、渡邊、穴井、手島、稗田)	07.28	PGT-A 実務者会議(東京) 参加(城戸、大津、院長)
06.18	第24回 セント・ルカセミナー(大分オアシスタワーホテル) 講演1:「輝く女性が日本の危機を救う」吉村恭典先生(内閣官房参与/慶應義塾大学 名誉教授) 座長:宮川勇生先生(大分大学 名誉教授) 講演2:「北海道での着床前診断開始で見てきたこと」遠藤俊明先生(札幌医科大学医学部産婦人科学講座 非常勤講師) 座長:西山幸男先生(西山産婦人科 理事長) 講演3:「生殖発生学における倫理と哲学」森崇英先生(京都大学 名誉教授/NPO 法人 生殖発生学アカデミア 理事長) 座長:植原久司先生(大分大学医学部産科婦人科学講座 教授) ランチョンセミナー:「次世代シーケンサー(NGS)による技術革新: PGS と子宮内菌叢解析」桜庭喜行先生(Varinos 株式会社 代表取締役) 座長:原鐵寛先生(県立広島病院産科婦人科 主任部長) 講演4:「女性からみた出生前診断〜これまでの流れを取材して感じたこと〜」河合蘭先生(出産ジャーナリスト) 座長:河野康志先生(大分大学医学部産科婦人科学講座 准教授) 講演5:「次世代型 PGD / PGS の現状と問題点」倉橋浩樹先生(藤田保健衛生大学総合医学研究所 分子遺伝学研究部門 教授) 座長:田中温先生(セントマザー産婦人科医院 院長) 総合討論座長:吉村恭典先生(内閣官房参与/慶應義塾大学 名誉教授)	07.29	2017年度(第11期)生殖医療相談士養成講座(東京) 参加(青木)
		07.29	第3回 第11期オリーブの会 参加者5名
		08.03	福岡臨床遺伝研究会(福岡) 参加(院長) 発表:「着床前スクリーニングについて」(院長)
		08.05	第69回 「赤ちゃん〜今ならきつと授かる〜」講座(大分・トキハ会館) 参加者90名 講師(越名(受付)、川村(看護部)、稗田(臨床心理士)、院長、わざわざかかりつけ泌尿器科クリニック 緒方俊一先生) 参加(後藤彩、瀬戸口、安部、川内、越名、橋、大津、秦岡、土谷、渡邊、坂本、川村、後藤裕、稗田)
		08.07	藤田保健衛生大学 NGS 研修(愛知) 参加(城戸、大津)
		08.08	第221回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院
		08.12	第240回 体外受精教室 参加者39名 参加(後藤彩、瀬戸口、川内、大城、橋、神田、後藤香、熊迫、秦岡、土谷、渡邊、越光、稗田)
		08.14	徳島大学ぎねこ連にて阿波踊り(徳島) 参加(油野、青木、院長)
		08.18	日本卵子学会 OVI 販売およびデータ収集についての会議(東京) 参加(院長)
		08.20	第18回 東北 ART 研究会(宮城) 参加(院長) 講演:「ARTにおける新しい黄体補充法について」(院長)
		08.22	安全管理研修: B型肝炎について(担当: 看護部)
		08.26	第24回 臨床細胞遺伝学セミナー(東京) 参加(神田、城戸、院長)
		08.27	2017年度 第1回生殖医療従事者講習会(大阪) 参加(甲斐)
		08.29	株式会社バズラボ フリーマガジン「ジネコ」冬号(Vol.36)取材
		08.30	HBOC-Scientific Exchange Meeting in Oita(大分) 参加(熊迫、甲斐、河邊)
06.19	平成29年度 大分大学医学科6年次産婦人科実習 伊藤葵さん(〜7月14日まで)	09.01	新職員 平田春菜(受付)、矢野彩瑛子(メディカルアシスタント)
06.20	院内全体研修: 避難訓練(担当: 受付)	09.01	第27回 遺伝学セミナー(千葉) 参加(院長)
06.23	第41回 日本遺伝カウンセリング学会学術集会(大阪) 参加(院長)	09.03	第16回 生殖バイオロジー東京シンポジウム(東京) 参加(小池、熊迫、院長) 座長:「がん・生殖医療の現状と今後の展望〜卵子・卵巣凍結を含めて〜」(院長) 発表:「マウスを用いたシクロフォスファミド(CPA)投与回数による妊孕能回復への影響」(小池恵)【学術奨励賞受賞】
06.23	第236回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分) 参加(甲斐、河邊)		「Strict criteria 精子形態評価からみた rescue ICSI の有用性についての検討」(熊迫陽子)
06.25	第5回 大分性教育セミナー(ホルトホール大分) 講演1:「生も性も覚悟をもって〜自分よりも大切な人ができるまで〜」金子法子先生(針産婦人科 院長) 座長:谷口久枝先生(やくちレディースクリニック 院長) 講演2:「自分をたいせつに 他のひとをもっとたいせつに」松隈孝則先生(松隈産婦人科クリニック 院長) 座長:貞永明美先生(貞永産婦人科医院 院長)	09.05	第222回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院
		09.07	福岡臨床遺伝研究会(福岡) 参加(院長) 症例紹介:「ターナー症候群 当院の3症例」(院長)
06.27	第123回 大分県周産期研究会(大分) 参加(後藤彩、瀬戸口、安部、矢野、川内、青木、瀧、大城、越名、橋、小池、神田、熊迫、大津、秦岡、土谷、渡邊、穴井、戸高、坂本、北田、亀井、齊高、赤嶺、松土、越光、後藤裕、稗田、甲斐、河邊、院長) 発表:「ヒト胚の動的変化時間と染色体数異常の関係」(大津英子)「当院の新患教室のアンケートから現在の患者の動向を比較する」(戸高里美)	09.08	第57回 日本産科婦人科内視鏡学会 /18th APAGE Annual Congress 2017(岡山) 参加(長木、越光、院長) 発表:「当院における腹腔鏡手術の現状」(院長)
07.01	第69回 ガーネットサークル OG 1名、参加者3名	09.09	第60回 JISART 理事会(東京) 参加(院長)
		09.09	2017年度(第11期)生殖医療相談士養成講座(東京) 参加(青木)
		09.09	第4回 第11期オリーブの会 参加者4名
		09.10	第15回 日本生殖看護学会学術集会(新潟) 参加(手島)

09.16	第105回 新患教室 参加者97名 参加(瀬戸口、平田、川内、青木、橋、後藤香、矢野彩、秦岡、土谷、渡邊、松土、稗田)				
09.19	第27回 セント・ルカ産婦人科倫理委員会 倫理委員長：野村陽一先生(日本福音ルーテル大分教会 牧師) 倫理委員：緒方俊一先生 (わさだかかりつけ医院泌尿器科クリニック 院長)、 河野浩先生(河野・千野法律事務所 弁護士)、 後藤裕子(セント・ルカ産婦人科 看護師長)、 近藤邦子先生(別府平和園 園長) (五十音順)	11.14 11.14 11.16			発表：「不妊治療終結における患者サポートに関する検討 ～「ご夫婦2人の人生を選択した、 元患者さんのお話」を開催して～」(手島しおり) 安全管理研修：パソコンのセキュリティについて(担当：情報処理室) 第4回 里親・養子縁組の説明会～治療を経て里親・縁組をされた方のお話～ 日本生殖医学会学術講演会・総会(山口) 参加(後藤香、大津、戸高、手島、甲斐、河邊、院長) シンポジウム講演：「ART 児の長期予後調査～厚生労働科学・AMED 研究(吉村班・苛原班) ART 出生児予後調査結果より～」(院長)
09.30	第241回 体外受精教室 参加者87名 参加(後藤彩、瀬戸口、平田、川内、橋、神田、秦岡、渡邊)				発表：「脱落膜子宮内膜間質細胞のプロテアーゼ活性化型 受容体(PAR)-1を介した細胞機能調節」(後藤香里) 「染色体トリソミーは胎胚形成時間が早くなり、 モノソミーは遅くなる」(大津英子) 「当院の新患教室のアンケートから 現在の患者の動向を比較する」(戸高里美) 「不妊治療終結における患者サポートに関する検討 ～「ご夫婦2人の人生を選択した、 元患者さんのお話」を開催して～」(手島しおり)
10.07	第106回 新患教室 参加者75名 参加(後藤彩、瀬戸口、平田、大城、橋、長木、秦岡、土谷、戸高、松土、稗田)				日本人類遺伝学会 第62回大会(神戸) 参加(城戸、院長) 11.18 第5回 第11期オリーブの会 参加者6名 11.21 株式会社バズラボ フリーマガジン「ジネコ」春号(Vol.37)取材 11.25 第61回 JISART 理事会(大阪) 参加(院長)
10.10	院内全体研修：栄養学について(担当：厨房)				12.02 うつのみやレディースクリニック新病院完成披露会(和歌山) 参加(院長)
10.13	第8回 大分産婦人科手術研究会(大分) 参加(甲斐、河邊、院長)				12.02 第32回 日本生殖免疫学会総会・学術集会(東京) 参加(後藤香) 発表：「脱落膜子宮内膜間質細胞のプロテアーゼ活性化型 受容体(PAR)-1を介した細胞機能調節」(後藤香里)
10.14	第70回 ガーネットサークル OG 1名、参加者6名				12.05 院内全体研修：避難訓練(担当：看護部)
10.14	2017年度(第11期)生殖医療相談士養成講座(東京) 参加(青木)				12.09 第107回 新患教室
10.20	第46回 大分市医師会産婦人科一内分泌・不妊・代謝一懇話会(大分) 参加(後藤彩、瀬戸口、安部、油野、平田、川内、青木、濱、大城、越名、橋、後藤香、城戸、熊迫、秦岡、土谷、渡邊、戸高、坂本、北田、赤嶺、手島、足立、越光、後藤裕、稗田、甲斐、河邊、院長) 「卵胞発育と排卵 自然周期体外受精からみてきた新しい理解」 (千葉大学大学院医学研究科産婦人科学 教授 生水真紀夫先生)				12.09 忘年会
10.21	第242回 体外受精教室 参加者35名 参加(後藤彩、瀬戸口、平田、川内、濱、橋、後藤香、熊迫、秦岡、土谷、手島、稗田)				12.09 2017年度(第11期)生殖医療相談士養成講座(東京) 参加(青木)
10.24	第124回 大分県周産期研究会(大分) 参加(後藤彩、瀬戸口、安部、矢野、平田、川内、青木、濱、大城、越名、橋、城戸、長木、熊迫、大津、秦岡、土谷、渡邊、坂本、北田、亀井、赤嶺、手島、後藤裕、稗田、甲斐、河邊、院長) 発表：「当院の着床前診断の経験」(大津英子) 「不妊治療終結における患者サポートに関する検討 ～「ご夫婦2人の人生を選択した、 元患者さんのお話」を開催して～」(手島しおり)				12.12 第223回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 大分がん・生殖医療研究会世話人・運営委員会(大分) 参加(熊迫、院長)
10.28	第14回 日本周産期メンタルヘルス学会学術集会(大分) 参加(坂本、稗田) 発表：「不妊治療中の流産経験を共有するための グループワークを開催して」(坂本順子) 「がん治療のため配偶子凍結を行った未成年患者が 成人へ達した時の親の気持ち」(稗田真由美)				12.12 第1回 JAPCO(Japan PGD Consortium)世話人会(兵庫) 参加(城戸、大津、院長)
10.30	American Society for Reproductive Medicine 2017 Scientific Congress & Expo(San Antonio) 参加(長木、越光、事務長、院長) 発表：「Impact of pre and post laparoscopic ovarian treatment on ovarian reserve with infertile women : prospective study」(長木美幸)				12.15 第3回 日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会(兵庫) 参加(城戸、大津、院長) 発表：「ヒト胚盤胞の栄養外胚葉と内細胞塊の 染色体構成についての検討」(城戸京子) 「ヒト胚の動的変化時間と染色体数異常の関係」 (大津英子)
11.04	第70回 「赤ちゃん～今ならきつと授かる～」講座(大分・トキハ会館) 参加者86名 講師(越名(受付)、川村(看護部)、稗田(臨床心理士)、院長、 わさだかかりつけ医院泌尿器科クリニック 緒方俊一先生) 参加(後藤彩、瀬戸口、平田、川内、越名、橋、城戸、秦岡、渡邊、坂本、川村、後藤裕、稗田)				12.15 遺伝カウンセリング・ロールプレイ研修会(兵庫) 参加(院長)
11.04	2017年度(第11期)生殖医療相談士養成講座(東京) 参加(青木)				12.17 遺伝カウンセリング・ロールプレイ研修会(GCRP2017)(北海道) 参加(院長)
11.05	第4回 西日本生殖看護グループ勉強会(福岡) 参加(手島)				12.19 マネジメントレビュー
11.06	新職員 宮田美紀(看護部)				12.19 院内感染研修：梅毒について(担当：看護部)
11.07	院内全体研修：心肺蘇生法(担当：看護部)				12.23 第244回 体外受精教室
11.11	第243回 体外受精教室 参加者49名 参加(後藤彩、瀬戸口、平田、川内、青木、橋、神田、秦岡、宮田、越光、稗田)				12.25 クリスマス会
11.12	第14回 大分県母性衛生学会役員会(大分) 参加(後藤裕、院長)				
11.12	第14回 大分県母性衛生学会総会・学術集会(大分) 学術集会担当：セント・ルカ産婦人科 参加(後藤彩、安部、秦岡、土谷、戸高、坂本、北田、手島、川村、松土、松元、越光、後藤裕、稗田、甲斐、河邊、院長)				

著書 (院長)	「培養液の現状」「生殖補助医療(ART) 一 胚培養の理論と実際」 (近代出版) 「不妊治療の助成金制度」「産婦人科の実際」(金原出版)(印刷中)
論文 (大津英子)	「ヒト初期胚における多核の原因検体」日本受精着床学会雑誌 (投稿中)
(熊迫陽子)	「Strict Criteria 精子形態評価に基づく conventional IVF と 受精障害に対する rescue ICSI の臨床的有用性の検討」 日本受精着床学会雑誌(投稿中)
(小池恵)	「The effects of Cyclophosphamide administration on In-vitro Fertilization of Mice」 Reproductive Medicine and Biology(投稿中)

妊娠報告件数
(2016.11.1～2017.10.31)
体外受精、顕微授精等
217件
*
その他(体外受精以外)
150件
計 **367件**



編集後記

今年は沢山の写真を頑張って、掲載しました(^_^)
又、昨年の忘年会も載せましたので楽しんでご覧頂けたら嬉しいです。
お花見、学会、クリスマス会などの行事で充実した一年でした。
感謝いたします。
来年も健康第一で頑張ります！(新聞係)